

編集後記

平成18年も残すところわずか一ヶ月となり、そろそろ冬支度が必要な季節になって参りました。今年は老朽化の激しかった核磁気共鳴吸収装置2台と粉末X線回折装置1台を無事更新することができたこともあり、センター教職員一同、達成感のある一年でした。また、本年4月から廃液処理施設が環境分析分野として当センターに統合され、奥墨主任技師が当センターの一員に加わりました。さらにこれまでセンター事務を担当していただいていた永原さんが3月に退職され、新たに神田さんがセンターの一員となりました。この他、大島技師、三田技師、加藤技師、徳永技師の4名が併任の技術系職員として、正式に当センターの管理・運営に参加していただける運びとなりました。

今年はセンターにとって激動の一年であったように思いますが、体制が整ったこともあり、これまで以上に良い教育・研究環境を整えられるよう、教職員一同、力を合わせて努力したいと考えております。当センターが利用される教職員や学生と共にさらに発展できるよう、関係方々の一層のご協力をお願いして、編集後記を締めくりたいと思います。

(文責 黒川 秀樹)

MaLS FORUM

埼玉大学総合研究機構

科学分析支援センター機関誌

Vol.4 2006.12

発行者 埼玉大学 総合科学分析支援センター

さいたま市桜区下大久保255

URL: <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>

TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)

FAX 048(858)3707

印刷所 文進堂印刷株式会社

さいたま市岩槻区仲町1-10-13